

## W26b Solar-B 可視光望遠鏡：フィルターグラム (FG) / スペクトロポリリメータ (SP) チャンネル間アライメント解析

岡本 文典 (京都大学)、勝川 行雄、一本 潔、末松 芳法、常田 佐久 (国立天文台)、清水 敏文 (宇宙研)、T. Tarbell(LMSAL)、SOT 開発グループ

2006年9月に打ち上げ予定の太陽観測衛星「Solar-B」搭載の可視光望遠鏡 (SOT) のチャンネル間アライメント解析の結果を報告する。SOT はフィルターグラム (FG) とスペクトロポリリメータ (SP) を持ち、さらに FG は 6 種類の Broadband Filter Imager (BFI) と 6 種類の Narrowband Filter Imager (NFI) の計 12 種類のフィルターから成っている。

解析に使用したデータは 2005 年 5 月に行われた太陽光試験において得られたもので、焦点面にグリッドを配置し、視野全体にグリッドパターンの入った像を FG の全フィルターと SP で撮影した。これを用いて、フィルター間の相対位置ずれを 0.1 pix 以下の精度で求めた。その結果、FG の像は観測波長に比例してピクセルスケールが小さくなること、焦点位置に依存してピクセルスケールが周期的に変化すること、SP のスキャンステップに周期的な変動があることなどが判明した。これらの情報は SOT 解析ソフトウェアに反映される。

講演内容は次の通りである：(1) BFI、NFI 間の相対位置ずれとプレートスケール (2) FG 位置ずれの焦点位置依存性 (3) SP と NFI 間の相対位置ずれとプレートスケール (4) SP のスキャンステップの一様性